

検 定 労 連

日本 検 定
労働組合連合
労働組合連合
東京都大田区蒲田5丁目
10-2 (日港福会館3F)
発行人 田 高 義
2018年2月26日
発行

18 春 闘



団 結 ガッパロー

2018春闘 全国港灣・検定労連は結集し 雇用を守り、生活の向上を!



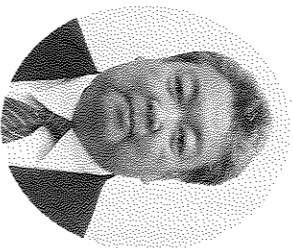
検定労連第54回中央委員会

雪の影響で交通機関の乱れる中、全国より中央委員に会にご参集され大変お疲れさまです。この数年の春闘では、産別制度資金に於ける独善法的な問題と考えられます。港の課題がまたわかっており、

検定労連 第五四回中央委員会

検定労連第54回中央委員会は、平成30年1月25日豊橋市「シーパルス日港福」において、中央委員11名・中央役員9名、オプザバーを含む出席総数29名のもと、開会挨拶・資格審査報告の後、議長にシムン・オプザバーが、18中央委員を選出し開催されました。大雪の影響で開始時間が遅れましたが、組織課題について活発な議論が行われました。検定業種の機能改善や賃金引上げを産別と連携し進めることを確認し、満場一致で議案が採択されました。

雪の影響で交通機関の乱れる中、全国より中央委員に会にご参集され大変お疲れさまです。この数年の春闘では、産別制度資金に於ける独善法的な問題と考えられます。港の課題がまたわかっており、



中央執行委員長 あいさつ

湾が抱える課題を打破する為動の中で行政や政党、政治家への申し入れに取り組み、できた中で成果であり、全国港灣の産別運動を継続してきただによるものも確信しています。中央港灣

質疑・討論 (要旨)

▲18春闘では、更に資金の底上げを労連で取り組み、ペーシングに繋げられる形を作らなければならない。現状に誤りがあると世論に認められなければ行政は動かない。各地区交渉も大切で、まとまって進めることを切望する。

職域・業域について

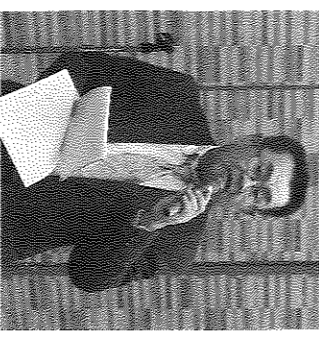
▲改訂リース契約については、重畳に輸出貨物に対して、重畳に港灣における重量証明に関する取り組みについて、進め方や内容が決まっているものがある。以前アメリカ向けコンテナに對してはシビアな対応だとしており、正しいか否かの判断は難しいのが、地区の現状化していないが、三〇トンを超える輸送する輸人コンテナが多々見られる。港灣での荷捌きを受けられる。その視点から施策に繋がる。連は会費を倍増してきた経緯がある。現状の組合員構成では、動員も限られる。七割が対外的にも厳しく取り締まる傾向にある。海上コンテナは取り締まりを受けない状態である。道路等のインフラを保全する観点で、行政にも安全にインフラへ運送する為の輸入に於ける重量証明に繋げる必要がある。

指定事業体について

▲石村やスワップ等で、過積載が原因で荷役中のコンテナを動かす必要がある。指定事業体について、新聞中央委員会開催に向けた意見として、集約するのが時間的に厳しい。

その他

▲資金については%引き上げは高い要求となっている。指定事業体についての取り組は、影響は及ばないのか不安がある。また、その動向はどのようか。また、その動向はどのようか。また、その動向はどのようか。



春闘財政について

▲地区財政運営に関しては、先人から受け継がれてきたもので、教えられた通りに運用する意識が薄れてきてい

その他

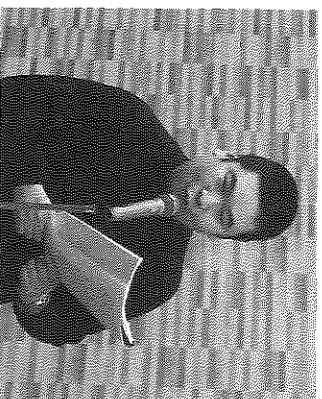
▲資金については%引き上げは高い要求となっている。指定事業体についての取り組は、影響は及ばないのか不安がある。また、その動向はどのようか。また、その動向はどのようか。

その他

▲資金については%引き上げは高い要求となっている。指定事業体についての取り組は、影響は及ばないのか不安がある。また、その動向はどのようか。また、その動向はどのようか。

その他

▲資金については%引き上げは高い要求となっている。指定事業体についての取り組は、影響は及ばないのか不安がある。また、その動向はどのようか。また、その動向はどのようか。



資金について

◆ここ数年官製春闘と言われ、政府も経団連も3%の賃上げを示している。賃上げ率による法人税減税の話がな測定を以って港灣での荷捌きされている事も鑑みながら判等に繋げ、港灣で機能できる断していく。人材確保が難しい体制を産別の中でも研究することが必要である。

中央執行部答弁 (要旨)

◆この数年官製春闘と言われ、政府も経団連も3%の賃上げを示している。賃上げ率による法人税減税の話がな測定を以って港灣での荷捌きされている事も鑑みながら判等に繋げ、港灣で機能できる断していく。人材確保が難しい体制を産別の中でも研究することが必要である。

職域・業域について

◆西協会検定事業は輸出中心に考えてきた。輸入について、差別的な方が必要となさせる取り組みが必要となる。形を委ねても参加される方向になっていること。答きせる為には小委員会での連体日程として、来年は見直しになる。産別の中では産別全にない部分がある。業制に回ら、輸入コナ子過積載に懸る賞金体系から、昨年は最低現場に従事している皆さんか、輸入コナ子過積載に懸る賞金での底上げで全体を押し下抑制からくる企業の考えで進められたが、検査種類の企業を引き上げる方向は同じ考えをお互い首を絞めてきてきえで取り組みたい。政府やたこととなる。港灣の秩序を財界もが賃上げを行く意思の守ることは無難、港灣運送事下、官製春闘といわれること業法の観点からも原点到る務について、職域や雇用に結ぶべく考えの中で捉えること前進させていきたい。

財政について

◆地財政では、各地区も組の観点で産別の財政政策をり量物を如何に安全に運べるか、45社海コ問題含め、重保全も行政の仕事であるた測かなされている。インフラ外の確定事業者として重曹計交渉していく。

中央執行部答弁 (要旨)

◆この数年官製春闘と言われ、政府も経団連も3%の賃上げを示している。賃上げ率による法人税減税の話がな測定を以って港灣での荷捌きされている事も鑑みながら判等に繋げ、港灣で機能できる断していく。人材確保が難しい体制を産別の中でも研究することが必要である。

総括答弁 (要旨)

◆地財政では、各地区も組の観点で産別の財政政策をり量物を如何に安全に運べるか、45社海コ問題含め、重保全も行政の仕事であるた測かなされている。インフラ外の確定事業者として重曹計交渉していく。

市川特別中執あいさつ

◆この数年官製春闘と言われ、政府も経団連も3%の賃上げを示している。賃上げ率による法人税減税の話がな測定を以って港灣での荷捌きされている事も鑑みながら判等に繋げ、港灣で機能できる断していく。人材確保が難しい体制を産別の中でも研究することが必要である。



◆この数年官製春闘と言われ、政府も経団連も3%の賃上げを示している。賃上げ率による法人税減税の話がな測定を以って港灣での荷捌きされている事も鑑みながら判等に繋げ、港灣で機能できる断していく。人材確保が難しい体制を産別の中でも研究することが必要である。

全国港灣 第一〇回中央委員会 力強く一八春闘をすすめ、具体的な労働環境整備に決着をつける！

全国港灣は、一月二十四日(水)から二十五日(木)にかけて第一〇回中央委員会を豊橋市「シパレス日産」において、中央委員、オナーパーを各二名、二百四十四名出席のもと開催しました。

はじめに、初代中央執行委が得られた事を報告して、力強く一八春闘を進める、また一八春闘のたまたかの進め方として、産別入権の確認

はじめに、初代中央執行委が得られた事を報告して、力強く一八春闘を進める、また一八春闘のたまたかの進め方として、産別入権の確認



はじめに、初代中央執行委が得られた事を報告して、力強く一八春闘を進める、また一八春闘のたまたかの進め方として、産別入権の確認